



2026年後半戦に突入する SUPER FORMULA 第8戦 東北大会、気持ちを切り替え新たな戦いに挑む Juju !



結成2年目を迎えた『HAZAMA ANDO Triple Tree Racing (以下、チーム)』は、8月8日(土)～8月9日(日)に宮城県・スポーツランド SUGO にて開催される年に一度の東北大会、『BOAT RACE 2026 年全日本スーパーフォーミュラ選手権 第8戦 東北大会』に参戦いたします。

チームは先日開催された『第3回瑤子女王杯 | 2026 年全日本スーパーフォーミュラ選手権 第3戦・第6戦・第7戦』から国内トップカテゴリーで数々の実績を誇る土沼広芳氏を新代表に迎え、元レーシングドライバーとして国内外で活躍された森本晃生氏をチームアドバイザーとする新体制で臨みました。Juju は「土沼代表と森本アドバイザーの加入によって、より多角的な視野から新たなアドバイスを頂けるのは、私にとってもチームにとっても大きなプラスです」と感謝の意を示しました。

しかしレースは不安定な天候に翻弄され、第6戦予選では一発逆転を狙って濡れた路面にスリックで挑むという賭けに出た Juju とチームでしたが、思いのほか路面の乾きが遅く、賭けには敗れてしまいました。しかし土沼広芳新代表はこの Juju のトライをポジティブに受け止め、挑戦する心を高く評価してくれました。



富士での3大会は、確かに結果としては満足できるものではありませんでしたが、森本晃生チームアドバイザーの目には、スタッフの動きを含めた様々な面で、かなり多くの発見と収穫があったレースだと感じていると語っていました。

野田英樹監督は、富士での戦いを振り返り、予想以上に厳しい週末を過ごしてしまい、チーム全員が悔しさを胸に刻み込んだ週末だったと語っています。その悔しさを無駄にすることなく、チームが一丸となって今回の東北大会へと臨んでいます。

今大会の舞台となるスポーツランド SUGO というサーキットは、高速型の富士スピードウェイとはキャラクターが異なり、アップダウンが激しく、トリッキーでテクニカルなサーキットです。

毎年荒れたレース展開となることが多く、『魔物が潜む SUGO』と嘯かれるほどですし、不思議とヨーロッパのドライバーが好成績を上げてきた過去の歴史もあり、ある意味ヨーロッパ育ちともいえる Juju にとって、今季一番の好チャンスが巡ってくる可能性が高いレースになることを、チーム全員も期待しています。

前回の富士大会で試した大幅なセットアップ変更のデータを分析した結果、これまでの不調の原因がおぼろげながらも見えてきました。チームはその検証を含め、大幅な進化を遂げることに、この短いインターバルでの努力を今日も続けています。

Juju 自身は、7月25日（土）～26日（日）に東京・お台場で開催されたフォーミュラ E『TDK TOKYO E-Prix』でジャガー-TSC レーシングに帯同し、世界のトップドライバーやチームの動きを間近で見ながら、日本人で初めてフォーミュラ E の現行マシンを駆ってナイトレースでのデモランを披露するという、大きな経験を積んでこの東北大会に挑みます。

Juju とチームは、応援してくださる皆様に自らの大きな飛躍でお応えすべく、全力でチャレンジする所存です。本大会も応援よろしくお願いいたします。



Triple Tree Racing





◆ドライバー Juju のコメント

「まずは、熊本地震で被災された皆さまに心よりお見舞い申し上げます。皆様の安全と、一日も早い復興をお祈りしています。少しでも皆様に元気や勇気を届けられるよう、自分も全力で今回のレースに取り組みたいと思います。昨年の SUGO のレースでは、土曜日のフリー走行開始早々に大切なフロアが壊れてしまい、それが全てでした。予選までにセットアップが出せず、しかも予選では赤旗でセッションが中断されて 19 位。雨となった決勝ではタイヤのグリップがすぐに無くなって苦戦しました。良い思い出があまり無いレースでしたが、それはチームとしての経験値を高めたことでもあり、今年はリベンジするだけです。もともとスポーツランド SUGO は、世界で最も難しいサーキットとして有名なベルギーの「スパ・フランコルシャン・サーキット」のミニ版的なサーキットですし、スパは私が大好きで得意なサーキットのひとつなのです。だからスポーツランド SUGO は楽しみですし、前回の富士で発見したセットアップの方向性を早く試してみたくて仕方ありません。フォーミュラ E という世界選手権を間近で経験し、エネルギーをもらいました。今回の東北大会でも力いっぱい戦って、土沼代表の言葉どおり、どんなスポーツでも年に 1 度か 2 度はあるというチャンスをこの SUGO で掴みたいと思います。



Triple Tree Racing





◆監督 野田英樹のコメント

「被災された皆様に、心からお見舞い申し上げます。少しでも前向きな気持ちになっただけのような、自分たちのチームは全力で戦います。去年の SUGO はいろいろあり過ぎて、確かにあまり良い思い出は無いレースでしたが、今年は違う景色を見るべく東北大会に挑みます。去年はタイヤ交換も苦戦しましたが、2年目の今年、チームは大きく成長しています。全チームの中で最短時間でのピット作業をと欲を出したことで、富士大会ではタイヤが締めこまれていないというミスを犯しましたが、その悔しさを全員で分かち合い、ピットストップの練習にはこれまで以上に励んできました。天候に関しては、現時点では雨の予報は出ていませんが、最近の変わりやすい天候によって、また荒れた展開になるかも知れません。ただどのチームも同じ条件ですので、自分たちは最後まで自分たちの戦い方を貫いて、予選 Q2 進出、そしてポイント獲得をこのレースで成し遂げたいと思っています」



◆代表 土沼広芳のコメント

「前回の富士大会で初めてチーム代表として現場に臨み、このチームの高い注目度と大きな可能性を同時に感じました。モータースポーツはチームスポーツであり、意気込みをひとつにして、高いモチベーションを維持しなければ勝てません。ひとりひとりが自分の仕事に真剣に向き合って、コンマ1秒を削り落とそうと努力し、挑戦者として勇気をもって自ら動き、変えていく。ミスを恐れる必要はありません。まだ若いチームですから、必ずや勝てるチームへと成長させてみせます。そして最後になりましたが、熊本地震で被災された皆様が、一日でも早く安心して過ごせる日々を取り戻されることを心から願っております」

◆この件に関するお問い合わせ: マネージメントアドバイザー チャーリー・チェン cac@3tree.jp

Triple Tree Racing

